

身近な公園は、自然とふれあう第一歩！

「おおたの名木」
に会いに行っ
てみませんか？



サクラ

バラ科 落葉

大田区にはサクラの名所が数多くあります。桜坂（田園調布本町19周辺）、馬込の桜並木（南馬込4-48から6-11付近）、洗足池公園（南千束2-14-5）、千鳥いこい公園（久が原6-26-5）、本羽田公園（本羽田3-23-10、3-29-4）などの並木のほかに、池上本門寺境内の笹部桜など珍しい樹種もあります。



桜坂



笹部桜（池上本門寺）

アジサイ

アジサイ科 落葉

春の桜に続いてアジサイが多摩川台公園（田園調布1-63-1）では、美しく咲き、梅雨空にも鮮やかな色が映えています。



自然ふれあいマップ

春・夏編

大田区



マツ

マツ科 常緑

大田区では、海岸に多いクロマツが池上大坊本行寺（池上2-10-5）、穴守稲荷神社（羽田5-2-7）に、内陸に多いアカマツが大田図書館（田園調布南25-1）、東中公園（東雪谷4-3-23）にあります。また、名木には選ばれてはいませんが、鶉の木松山公園（鶉の木1-6-1）や多摩川台公園でも立派なクロマツ、アカマツを見ることができます。



穴守稲荷神社



大田図書館

生きものたちがすみどりとみずの豊かなまちは、人の心に潤いと安らぎをあたえ、快適で健康的な生活環境をもたらしてくれます。

私たちのふるさと大田区には、「雑木林のみち」（田園調布周辺・崖線と湧水）、「池のみち」（洗足池・小池周辺）、「縄文のみち」（池上本門寺周辺）、「海と埋立地のみち」（大田区の臨海部）、「川と干潟のみち」（多摩川下流域）という5つの自然観察路があります。いずれも大田区ならではの自然の特徴をみることができます。さらに大田区には、数多くの公園があり、そこにも小さいながらも同じように多くの自然とふれあえる空間があります。

春にはまだ早く、寒さが残るなか、土の中から出てきたヒキガエルのオスは、水辺でメスを待ちます。やがて春の訪れとともに花々もウメからサクラに変わり、洗足池や多摩川のカモたちも北の大地に帰っていきます。公園や民家の池ではヒキガエルの卵もかえり、小さなオタマジャクシが泳ぎ始めます。チョウやトンボがそこかしこで観察できるのも大田区の豊かな環境があればこそ。身近な自然、庭やベランダのヒマワリをよく観察してみてください。もしかすると、早咲きの黄色い花の後ろに隠れるようにして獲物を待つカマキリの赤ちゃんに遭遇できるかもしれません。夏にニイゼミやアブラゼミ、ミンミンゼミの声が多く聞かれるのは、長い間、土の中でセミの幼虫が安心して過ごせる環境が維持されてきたからです。今年の夏は、セミの羽化をぜひ観察してみてください。毎年、多くの人が小さな命のドラマに感動しています。

また、多摩川河口の干潟はカニなど干潟の生きもの楽園です。カニにあまり興味なくても、干潟で泥んこになってみてください。子どもばかりではなく、大人の笑顔もあふれています。

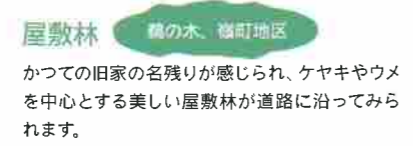


ほかにも大田区ならではの自然景観を楽しませてくれる地区があります。



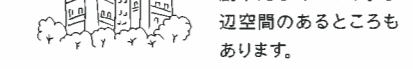
ソラムナード羽田緑地 羽田空港 2-8-1

自然あふれる多摩川に沿った緑地。水辺空間には四季を感じる植栽のある散策路があり、展望テラスや休憩施設、だれでもトイレが整備されています。



屋敷林 鶉の木、嶺町地区

かつての旧家の名残りが感じられ、ケヤキやウメを中心とする美しい屋敷林が道路に沿ってみられます。



久が原5丁目、山王3丁目付近

大型マンションの敷地周辺は、スダジイやサクラの大木や多くの植栽に囲まれていて、新しい都会の緑の空間を創りだしています。水辺空間のあるところもあります。



旧呑川緑地 北稲谷1丁目～大森南4丁目付近

旧呑川を埋め立てた上部に整備された全長約1.7kmの長い緑道公園で、サクラやヤナギ、ボブラなどの並木があります。途中で遊具のある広場もあります。

大田区自然ふれあいマップ 春・夏編

発行／令和3年8月 大田区環境清掃部環境対策課
編集／一般社団法人地域パートナーシップ支援センター デザイン／松井 由莉
写真提供／小野紀之、山邊功二、大塚豊、鈴木百合子、北間澄代、大田区（一部、資料写真を使用しています）
*このパンフレットは、区民協働環境調査をもとに区内環境団体（おおた野外博物館、多摩川とびはぜ倶楽部、おおた環境探検隊）の協力で作成したものです。



2030年に向けて
世界が定めた
「持続可能な開発目標」です